

研究課題名	健康格差と都市の社会経済構造に関する疫学研究
研究の意義・目的	近年、健康に対する社会経済要因の関与が注目されています。私達は、2011年に、本学の経済学研究科・文学研究科と共同で、「大阪市民の社会生活と健康に関する調査」（承認番号2085）を実施しました。当時、大阪市民の皆さん約3,000人にアンケート調査へのご協力をいただき、経済学・社会学・疫学の手法による分析を通じて研究結果を公表してきました。しかしながら、まだ分析の余地は残されている状況です。この度、先行研究（承認番号2085）でご回答いただいたアンケートの情報を分析する「後続研究」の位置づけで、様々な健康指標に関連する因子について更に解析を行い、大阪市における健康課題の解決に貢献することを目指したいと考えております。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2027年3月
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2011年に、大阪市立大学大学院経済学研究科、文学研究科、医学研究科公衆衛生学が共同で実施した「大阪市民の社会生活と健康に関する調査」（承認番号2085）にご協力いただき、アンケートに回答された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	過去にご協力いただいた「大阪市民の社会生活と健康に関する調査」（承認番号2085）では、下記の2種類のアンケートに回答いただきました。当時ご回答いただいた情報を、本研究で引き続き分析するために使用させていただきます。 ① 社会生活調査票：性別、生年月、住居・居住地域の状況、友人関係や社会生活の状況、家族の状況、幼年期・青年期の状況、学歴、就労状況、経済状況、社会経済・差別・貧困に関する経験および価値観 ② 健康調査票：主観的健康感、身長・体重、加入健康保険、健康診断・がん検診の受検状況、既往歴、インフルエンザワクチン接種歴、家族歴、肝炎ウイルス検査受検歴、心の健康状況、歯の状況、喫煙歴、飲酒歴、睡眠状況、運動状況、嗜好飲料の摂取状況
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学のみで行い、他の施設に情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学のみで行いますので、該当しません。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 公衆衛生学 研究責任者：福島若葉
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 公衆衛生学 福島若葉 電話番号：(06) 6645-3756